

9月9日のウクライナ情報

安齋育郎

●米務長官、ウクライナへ 10 億ドルの追加支援表明－反転攻勢支える(ブルームバーグ、2023年9月7日)

(ブルームバーグ): ブリンケン米務長官は6日、訪問先のウクライナの首都キーウで、安全保障や人道支援などに向けて 10 億ドル(約 1480 億円)の追加支援を表明した。

ブリンケン長官は追加支援について、ロシア軍への反転攻勢を続けるウクライナを支援するバイデン政権の決意を示すものだと説明した。

ウクライナのクレバ外相と共に記者会見したブリンケン氏は「米国はウクライナが自らの将来を描くことができるよう力を与えることにコミットしている。われわれは未来の侵略を抑止し、防御するためのウクライナの軍備編成を支援することにコミットしている」と語った。

ロシアが 2022 年2月に侵攻を開始して以降、米国はウクライナに 430 億ドル余りを供与している。ブリンケン長官によると、今回の支援パッケージには初めて、制裁対象となっているロシアのオリガルヒ(新興財閥)から没収した資産 540 万ドルが含まれるという。

また、ウクライナに供与する主力戦車「エイブラムス」で使用する劣化ウラン弾も初めて提供する。ブリンケン長官はゼレンスキー大統領とも会談した。

ブリンケン国務長官がキーウ入り、ゼレンスキー大統領らと会談へ

原題:Blinken Pledges \$1 Billion More to Ukraine Amid Counteroffensive(抜粋)

(c)2023 Bloomberg L.P.

●米政府閉鎖の恐れ、10 月の新年度入りに－暫定予算案で交渉難航見通し(Erik Wasson、2023年9月7日)

米国では予算を巡る議会の交渉が時間切れとなり、10 月の新年度入りに政府機関閉鎖に陥る恐れがある。共和党の下院保守派は歳出削減要求が通らない限り、暫定予算案の交渉を阻止する意向を示している。

上院議員は今週ワシントンに戻り、9月 30 日の年度終了後も政府資金を手当てする暫定予算案を議論する。下院の審議は来週再開する。

民主党は予算案にウクライナ追加支援やマウイ島の山火事を含む自然災害の救済措置を盛り込みたい考えだが、ウクライナ支援で下院共和党の強硬派と対立している。

民主党が多数派を占める上院が受け入れる暫定予算案には下院強硬派が求める措置は含まれない可能性が高い。共和党の下院保守派グループ「下院自由議員連盟」のメンバーは政府機関閉鎖を恐れておらず、政府閉鎖の脅威を利用して、難民の亡命申請プロセスの厳格化など優先政策を民主党に受け入れさせる意向を示している。

ロイ下院議員(共和)は4日のX(旧ツイッター)への投稿で、保守派が反対するプログラムの削減を伴わない予算案は「成立の見込みがない」と指摘。司法省の「武器化」などに保守派は反対していると説明した。

民主党は 12 月8日までの暫定予算案の成立を目指す。同党は予算案に災害・ウクライナ・国境管理支援の 440 億ドル(約6兆 5000 億円)などを盛り込みたい考えだ。

原題:US Government Shutdown Threatened as Congress Attempts Deal (1)

●ウクライナ軍、ドローンから対戦車地雷を投下して攻撃へ(2023年9月6日)

2023年9月にウクライナで対戦車地雷を搭載した動画が公開された。地上でウクライナ兵がドローンに対戦車地雷「TM-62」を搭載して、留め金が外すシーンである。

ウクライナ軍ではロシア軍の装甲戦闘車両や戦車、大砲といった軍事施設をドローンで攻撃して破壊することが多い。偵察監視ドローンが上空から大砲を探知したら、ミサイルを撃ちこんだり、攻撃ドローンで攻撃したりして破壊している。

今までは小型の民生品ドローンに小型の爆弾や手榴弾を搭載して、上空から小型の爆弾や手榴弾を投下して爆発させていた。小型の爆弾や手榴弾でも燃料などに引火すると大爆発することもよくある。安価な民生品ドローンを改造して小型爆弾を搭載して落下させるだけの簡単な攻撃ドローンだが、コストパフォーマンスも高く効率的にロシア軍を攻撃している。

今回の動画では大型ドローンから対戦車地雷を投下する。仕組みは小型民生品ドローンに小型爆弾を搭載するのと同じで、ドローンに対戦車地雷を搭載して、上空で敵の上で留め金が外れて対戦車地雷が投下される。今回の動画では地上でドローンに対戦車地雷を搭載しているシーンだけで、実際に戦場で使用したかどうかは報じられていない。対戦車地雷を投下して爆弾も投下すれば、ほとんどの軍事施設は大爆発する。

またウクライナ軍では、ドローンから爆弾を投下するだけでなく、小型民生品ドローンに爆弾を搭載して突っ込んでいき爆発させるいわゆる神風ドローンのタイプで、上空から軍事施設に突っ込んでいき破壊している。



●ドローンからの爆弾投下の仕組み

<https://t.me/vorposte/45599>



※ツイッターコメント:ドローンの生存率? 毎秒9.8メートルの落下(重力加速度)、手榴弾は種類にもよるが6~8秒の信管なので、標的との最大距離は60~80メートルだろう。問題点:柔らかい物体に対する~7kgの地雷のダメージ半径は100mを超えるので、ドローンは素早く移動する必要がある。

●マリク・オバマの暴露:『オバマの真実』

バラク・オバマの弟であるマリク・オバマが「元大統領の真実」を暴露。マリク『私はトランプが好きです。バラク・オバマは単なる為政者の代弁者という存在でしかありませんでした。』

インタビュー Q & A:

- ◎ バラクはあなたの父親によって育てられたわけではありませんよね?
- ◎ はい。彼は母親に育てられました。
- ◎ 彼の周りに男らしい男性がいなかったことも、彼がより民主的でリベラルである理由だと思いますか?
- ◎ はい、そう思っています。彼はとても(性的な面において)柔軟です。
- ◎ 公職と権力が兄弟を墮落させたと思いますか?
- ◎ はい、もちろん。彼は、人気とイメージを高めるためなら何でもします。彼には政治的な信念などありません。
- ◎ あなたは、あなたの兄弟を尊敬していますか?
- ◎ いいえ。私はトランプ大統領が好きです。トランプは強い男性です。彼は自分の考えを持っていますが、オバマは、単なる為政者の代弁者に過ぎないと思います。

<https://twitter.com/i/status/1699556861073326585>



●孫崎亨(まごさき・うける)氏の観測(2023年9月7日)

日本にもとうとうこういう報道が出始めたか。「ウクライナ支援に反対が過半数 揺れる米の“潮目”(TBS NEWS)“ウクライナを支援する予算を承認すべきでない”。これに米国民の55%が賛成したのだ。民主党支持者でも38%。共和党支持者71%がウクライナ支援に消極的。

<https://ch.nicovideo.jp/magosaki/blomaga/ar2164553>



●ロシアが Su34 戦闘爆撃機に「キンジャール」を装備 これはウクライナと NATO に深刻な脅威を与える = 軍事専門家(2023 年 9 月 7 日)

極超音速ミサイル「キンジャール」で武装したロシアの Su34(スホーイ 34)戦闘爆撃機は、ウクライナと NATO にとって深刻な脅威となっている。軍事アナリストのドラゴ・ボスニクは、ネットメディア「InfoBRICS」の記事で、キンジャールを搭載できる航空機の数に現在 5 倍に増えていると述べた。

ボスニク氏は、ロシア航空宇宙軍が Su34 に「キンジャール」を搭載したと見ており、航空機の殺傷能力がこれまでにないほど高まっていると指摘している。

ボスニク氏によると、ロシアの軍事指導部によるこのような決定は、ウクライナにとっても、ヨーロッパや中東を含む戦略的な方面にとっても、重大な結果をもたらすという。

ボスニク氏はまた、「キンジャール」を搭載できる航空機の数に 5 倍に増えたため、このような歩みはロシアの敵対者にとって良い兆候ではないと付け加えた。

記事の最後にボスニク氏は、「キンジャール」は驚異的な速度(マッハ 12 まで)、高い操縦性、航続距離によって、これまで作られた中で最も致命的な攻撃兵器のひとつになっていることに改めて触れている。

9 月 4 日、Su34 戦闘爆撃機が特殊軍事作戦が行われている地域で初めて極超音速ミサイル「キンジャール」を使用したことが明らかになった。戦闘機の乗組員には国家の勲章が贈呈された。



●「ロシアのせいにしてよう大作戦」の一環かな？(2023年9月7日)

「ロシアがコンスタンチノフカ(ドネツク)の市場をミサイルで攻撃して 16 人死亡」

分析の結果、おそらくミサイルは米国製 AGM-88HARM でウクライナ軍基地方向から発射されたものだったことが判明

監視カメラの位置と、ミサイル着弾前に住民が見上げている方向が AFU のドルジキフカ方面

ウクライナ軍が発射した AGM-88 HARM の残骸はドネツクの各地域で相当数発見されている

ロシアの特別軍事作戦はドネツク含むドンバス地方の解放で、ウクライナは 2014 年から現在進行形でドンバス地方の民族浄化をしていることを思い出そう

<https://twitter.com/i/status/1699604856611463670>



●ロシアの S.ラブロフ外相の弁(2023年9月6日)

ロシアは孤立しているとのことだが、我が国に制裁を一切発表せず、我が国との関係を維持する国々には世界人口の 85 パーセントが暮らしており、こうした発言はそうした人々に対する侮辱である。

ウクライナの V.A.ゼレンスキー大統領は最近、文明世界全体がロシアを非難し、孤立させていると述べた。

その理解における文明世界全体が「ゴールデン・ビリオン」(黄金の十億人)に留まるならば、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの国々はゼレンスキー大統領にとって野蛮な世界ということか。

EU の J.ボレル外務・安全保障政策上級代表はヨーロッパを「花園」、それ以外は「ジャングル」と述べたが、そのメンタリティは、現ウクライナ政権の考え方に深く浸透している。

ロシアには素晴らしい計画がある。向かい風の吹く分野でロシアが外交政策を強化していることは、誰の目にも明らかである。

●アメリカメディアの現状認識(2023年9月6日)

ワシントン・ポスト』紙、『ウォール・ストリート・ジャーナル』紙、『フィナンシャル・タイムズ』紙、その他

多くの欧米の出版物は、ウクライナの反攻が崩壊したことを認めている。

そして、これらの出版物がロシアに同情的であると見られたことは一度もないにもかかわらず、である。

ウクライナには、平和的解決策を交渉するという最後の選択肢が残されている」と『NATIONAL INTEREST』に書いている。

「キエフが積極的な軍事行動を続ける見通しは非常に暗い。

ロシア軍の防衛力は模範的であり、航空戦でも優位に立ち、ランセットのような兵器は非常に効果的であることが証明されている。そして、敵の NATO が訓練した 10 個旅団は、ロシア防衛の第一線を突破することなく、事実上消滅している。

秋はすぐそこまで来ており、ぬかるみ、雨、泥の中で部隊を機動させることは不可能で、ウクライナにとって最善の方法は『朝鮮半島シナリオ』を実行することだろう」



●米、ウクライナに10億ドル追加支援表明へ 国務長官がキーウ入り(産経新聞。2023/9/6)

ブリンケン米国務長官は6日、ウクライナの首都キーウ(キエフ)を予告なしで電撃訪問した。米CN Nテレビによると、ブリンケン氏は新たに10億ドル(約1470億円)の支援を表明する見通し。19日から始まる国連総会の一般討論演説を前に、米国とウクライナが結束していることを示す狙いという。

ブリンケン氏のウクライナ訪問は昨年9月以来。同国のクレバ外相との6日の会談では、ウクライナ軍がロシア軍に対して進める反転攻勢について「進展は順調だ」と評価した。

一方、ウクライナ当局は6日、同日未明にかけてキーウなどを標的としたミサイル8発による露軍の攻撃があったものの、全て撃墜したと発表した。ただ、南部オデッサ州も露軍の自爆無人機(ドローン)

25機による攻撃を受け、大半を撃墜したものの、1人が死亡した。ウクライナメディアが伝えた。



●裁判所、身柄拘束を命令 ゼレンスキー氏後援の富豪(産経新聞、2023/9/3)

ウクライナの首都キーウ(キエフ)の裁判所は2日、マネーロンダリング(資金洗浄)や詐欺の罪で起訴された富豪コロモイスキー氏について、公判開始まで約2カ月間の身柄拘束を命じた。ウクライナメディアが伝えた。

裁判所は、保釈金5億1千万フリブナ(約20億円)を提示したが、コロモイスキー氏の弁護人は支払わずに異議を申し立てると明らかにした。

コロモイスキー氏は東部ドニエプロペトロフスク州の元知事で、2019年の大統領選で現職のゼレンスキー大統領を支援した。



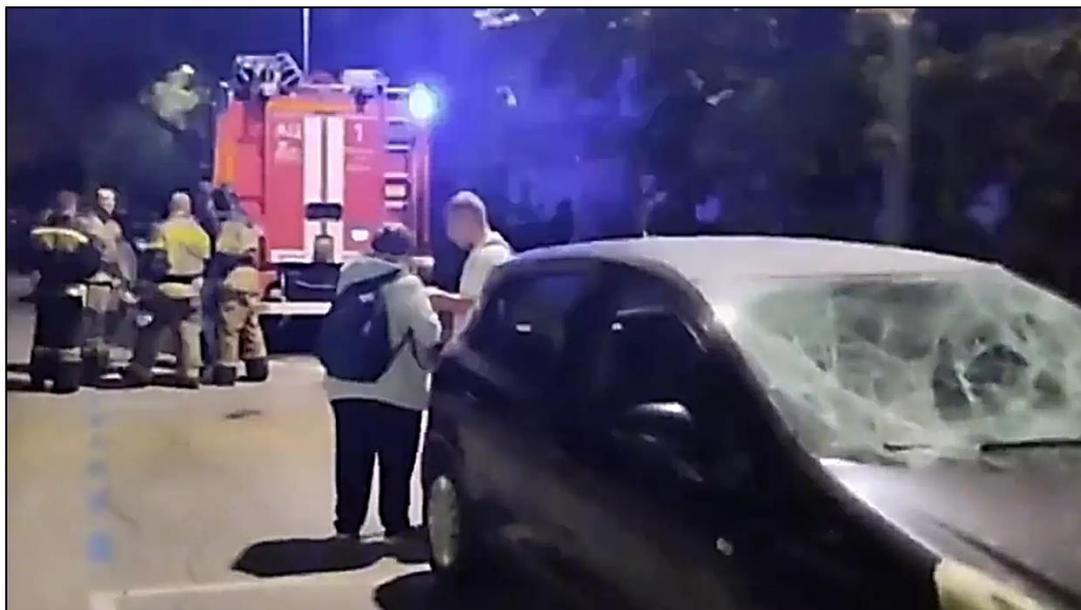
●宇軍ドローンがロシアの3地域を攻撃 建物に被害 負傷者も(2023年9月7日)

ロシアは現地時間深夜(日本時間で午前中)、モスクワ、ブリャンスク州、ロストフ州への攻撃を試みたウクライナのドローンを防空システムで撃墜した。

モスクワのソビヤニン市長によると、モスクワ州で深夜、モスクワに向かって飛来したドローンが破壊された。建物の損傷や人的被害はないという。

ロシア国防省は、作動していた防空システムがロストフ州上空で無人機2機を破壊したと発表した。同州のゴルバフ知事によると、ロストフ・ナ・ドヌ市で3つの建物の正面部分と複数台の自動車が損傷を受けたほか、1人が負傷した。

ブリャンスク州のボゴマス知事は、深夜と早朝に同州上空でドローン 3 機が破壊されたと発表した。ドローン 1 機が墜落し、ブリャンスク市の鉄道駅の建物のガラスと駅前広場の一部、複数台の自動車が損傷を受けた。負傷者は出ていないという。



ウクライナによる深夜の #ドローン攻撃 の最中にロストフ・ナ・ドヌ市中心部で起こった爆発の瞬間を捉えた映像。

ロストフ州知事によると、ドローンが墜落した地域には非常事態が宣言された。

<https://twitter.com/i/status/1699680130480656530>



●ダグラス・マクレガーの見立て(2023年9月7日)

元トランプ顧問のダグラス・マクレガー米陸軍大佐:ロシアは2つの事を期待して時間を待つ決断を下した。

ひとつは交渉だが、どうやら待っていても無駄なようだ。

もうひとつは欧州経済が崩壊する事。

私は彼らが長く待つ事はないと思う。欧州は深刻な不況に直面しているだけではない。冬には燃料問題が壊滅的な打撃を与えるだろう。

EUは危機に瀕している。だからロシアは全てが崩壊するまで少し待とうと決めたのだろう。

なぜなら彼らは本当は誰も殺したくないからだ。

プーチンは私達とは全く違う。プーチンは西側諸国とも、ウクライナ人とも平和に暮らしたいと考えている。

そしてプーチンが準備している事、ロシアが準備している事は、ポーランド国境まで進軍する事だ。彼らはその為の全ての能力を持っている。

彼らはゆっくりと軍隊を募集している。75万人を募集し、120万人の兵力を確保しようとしている。

私達がこの戦争で防ぎたかった事は全て起こっている。私達自身が、常に恐れていた軍隊を誕生させてしまったのだ。



●バイデン氏の遺族、2019年の死去と俳優の交代を認める(The People's Voice, 2023年9月6日)

※安齋注:何だかよく見立ての付かない記事です。

バイデンの家族は、彼が亡くなり、2019年に俳優に取って代わられたことを認めている

✓ 事実確認

🕒 2023年9月6日 👤 バクスター・ドミトリー
💬 3件のコメント



バイデンと何かがおかしい。

ジョー・バイデンは、グローバリストのエリートたちが西側民主主義国家の傀儡的指導者として選んだ、単なる危うい小児性愛者なのだろうか--それとも、もっと邪悪な何かが進行しているのだろうか？

バイデンの不具合をフィーチャーした奇妙な動画は、彼の健康状態や、彼が AI によって動画で表現されているかどうかについて深刻な疑問を投げかけている。

今、バイデンの家族のメンバーは、本当のジョー・バイデンは大統領執務室のレゾリュート・デスクで意思決定をしている人物ではないと認めている。

この時点で、ジョセフ・R・バイデンに真実はあるのか、それともバイデン大統領就任は史上最大の詐欺のひとつなのか、と問わねばならない。

ジョー・バイデンがまばたきなしで丸 40 秒を過ごすホワイトハウスのビデオは、誰が本当にアメリカ大統領を務めているのかについて深刻な疑問を投げかけている。

『スミソニアン』誌によれば、普通の人間は平均して 3~4 秒に 1 回まばたきをするという。40 秒というのははっきり言って不自然だ。では、バイデンのいったい何が問題なのか？そして他に何を隠しているのか？

ホワイトハウスは昨日、数時間以内に 2 つのビデオを公開したが、バイデンはそれぞれのビデオで別人のように見える。肌の色も目の色も違うし、2 つ目のバイデンは時々まばたきをしている。

2 つのビデオを前後して見て、バイデンの外見と声に注目してほしい。これは同じ男なのか？これは本当の人間なのだろうか？

多くの人々は、グローバリストのエリートが、ホワイトハウスに隠れた手によって操られる危険な操り

人形を置くために、ジョー・バイデンを大統領に選んだと考えている。私たちは、その見せかけの証拠を目撃しているのだろうか？注目している人たちにとっては、バイデンの就任初期から、彼らがこのようなことをしていたという証拠がある。

ホワイトハウスの芝生で行われたとされる、偽のマイクとしか言いようのないビデオを覚えているだろうか？それともマイクは本物で、バイデンは偽物だったのだろうか？

私たち国民によって選ばれた本物のリーダーよりも、ディープフェイクの AI 人形をコントロールする方がずっと簡単はずだ。AI ディープフェイクを使えば、常に同じ俳優を使う必要もないし、俳優がその人物に似ている必要もない-俳優を入れ替え、ポストプロダクションでディープフェイクを追加するだけだ。

ジョー・バイデンの演技を見て、何か”変”だと思ったことがあるなら、それは正しい。元 CIA 変装主任のジョナ・メンデスは、彼女が CIA にいたとき、俳優が実生活で重要人物の役を演じるために使用できるマスクを開発したことを認めている。メンデスはまた、CIA がこの分野でさらに進んだ技術を持っていることもほめかけた。

操り人形の親玉たちにとっては残念なことだが、平均的なアメリカ人は今、ジョー・バイデンについて ”何か ”があることに気づき、目を覚ましている。

彼の家族でさえ、彼をバスの下に放り込もうとしている。彼の娘アシュリーは最近、彼が幼少期に性的虐待を受けたと告発した。私たちはそれについてビデオを作りました。息子のハンターは彼を陰で ”パド・ピーター ”と呼んでいる。そして今、彼の孫娘(彼が認めた幸運な人物の一人)は、彼が 2019 年に亡くなり、それ以来俳優が演じていると言っている。

本物のジョー・バイデンに立ち上がってもらえないだろうか？

※著者:バクスター・ドミトリーは The People's Voice のライター。政治、ビジネス、エンターテインメントを担当。話せるようになって以来、80 カ国以上を旅し、すべての国で議論に勝利してきた。恐れず生きよう。

E メール:baxter@thepeoplesvoice.tv